

## 目次

巻頭言 本間 慶蔵教授及び Juergen Aschoff 教授の思い出 登倉 尋實	1
第1回学術奨励賞受賞者論文 シアノバクテリアの時計研究の舞台裏 岩崎 秀雄	3
視交叉上核ニューロンにおけるサーカディアン細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度リズムの発見：その時間生物学におけるインパクト 池田 真行	12
総説 生体時計を基盤とする循環動態調節機構の解明 江本憲昭、野中英美、横山光宏	23
インターバルタイマータンパク質TIME、ねじまきPIN付き 甲斐英則、谷 直紀、磯部 稔	28
鳥類の時計遺伝子と光周性 安尾しのぶ、渡邊美和、海老原史樹文、吉村 崇	35
海外レポート アメリカでのポストドク生活—テネシー州ナッシュビルより 太田 英伸	41
第2回 Molecular Clock東京 2004 に参加して 渡辺 剛史	45
日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ	47
11回大会のおしらせ	48
事務局報告	49
執筆者のプロフィール	53
賛助会員リスト	55
執筆要領	56